

プレミックス K2 下地調整施工要領書

1. 適用下地

コンクリート、モルタル、ブロック、PC板、押出成形セメント板、ALCパネル

2. 下地処理

下地の種別	処理方法
コンクリート PC板	(超)高圧水洗浄やカップリングなどで、下地表面の脆弱層や油脂分などの不純層を除去しつつ、目荒しを行なって下さい。
モルタル ブロック	表面にエフロッセンスや脆弱箇所がある場合はワイヤーブラシやサンダー等で除去し、水洗いを行って下さい。
押出成形セメント板 ALCパネル	粉塵等の付着物を十分に除去して下さい。

3. 吸水調整

下地が乾燥している状態で、ユニレックス 3 の 5 倍希釈液を刷毛等でムラなく塗布して下さい。

ユニレックス 3	ユニレックス 3 原液	清水
5 倍希釈液の希釈割合	1	4

乾燥時間の目安：夏期 1～2 時間 ・ 冬期 3～4 時間 程度

ブロック・ALCパネル・その他吸水の激しい下地に対しては、1 度塗付した吸水調整材が乾燥した後、もう一度塗布して下さい。(2 回塗りして下さい。)

4. 調合

- ① プレミックス K2 25kg に対し、水約 4.7 リットルで練り混ぜて下さい。
- ② 練り混ぜにはハンドミキサーなどの機械器具を用いて十分に攪拌して下さい。

5. 下地調整

① 塗厚 2～3 mm の場合

一度下地にしごき付けるように擦り塗りし、追いかけて塗り重ねて下さい。

② 塗厚 4～5 mm の場合

一度下地にしごき付けるように擦り塗りし、追いかけて 2～3 mm 程度まで塗り重ねて下さい。塗り付けた層の粘着がなくなる程度まで締まってきてから、重ね塗りし 5 mm 以下の所定の厚さにして下さい。

※ 総塗厚が 5 mm を超える場合は一回の塗厚を 3 mm 程度とし、3 日間以上養生して塗り重ねて下さい。

6. 養生

直射日光、降雨、強風などから施工面を保護できるようシートなどで養生して下さい。